



議/会/報

かわべ

第79号

平成11年5月1日



花見客で賑わう山楠公園

3月定例会……………2

町長所信表明……………4

7議員が一般質問……………6～14

第2回臨時会……………14

編集後記……………14

3月定例会

72億3,743万円 を議決

平成11年度7会計の予算総額

3月定例会は、3月8日から19日までの12日間の会期で開かれました。

本定例会は、平成11年度の各会計当初予算7件のほか、人事案件、条例の一部改正、平成10年度各会計補正予算など30議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般質問は、7人の議員が質問に立ち、町政をたできました。

可決案件

◎新年度予算

▲一般会計予算

39億9000万円

▲国民健康保険事業特別会計

6億2700万円

▲老人保健特別会計

9億6200万円

▲学校給食共同調理場特別会計

計 5736万円

▲下水道事業特別会計

9億3490万円

▲農業集落排水事業特別会計

5960万円

▲水道事業会計

6億657万円

◎人事

▲人権擁護委員の推薦

委員の2名の任期が満了となるため、町長から推薦について諮問があり、適任として答申しました。

ひだみつお
肥田満郎氏 (再任)



昭和7年2月1日生
住所 川辺町比久見1288番地の1

ひらおかみちふ
平岡道生氏 (新任)



昭和9年6月2日生
住所 川辺町下麻生373番地の3

◎専決報告

▲専決処分の承認

《平成10年一般会計補正予算(第7号)》
50万円を増額し総額を39億1131万7000円としました。

◎条例の制定

▲生活安全条例

住民相互間の連帯意識、共

同意識の向上をめざし、行政と住民が一体となって安全で住み良い地域社会の実現を図るため制定しました。

◎条例等の一部改正

▲非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例
生活安全推進協議会設置に伴い委員報酬の改定をしました。

▲職員の特殊勤務手当に関する条例
税務手当を廃止しました。

▲職員等の旅費に関する条例
出張区域の改正をしました。

▲福祉医療費助成に関する条例
福祉の充実を図るため、乳幼児医療費の助成対象者が3歳に満たない者から4歳に満たない者に年齢を引き上げました。

▲都市公園条例

山楠公園内の夜間照明灯の完成に伴い、ナイター使用料金と利用時間を改正しました。施設利用料金は、午後6時

30分から午後9時30分まで6930円としました。

▲公共下水道事業受益者負担に関する条例
公共下水道事業区域の拡大に伴い、負担区の区分の改正をしました。

▲川辺町と岐阜県との公平委員会事務委託に関する規約
広域行政事務で対応するため、県との事業委託を廃止しました。

▲可茂広域行政事務組合の規約
介護保険制度の認定審査会事務を広域行政事務で対応することになりました。

▲可茂衛生施設利用組合の規約
ささゆりクリーンパークの稼働により、組合の執行機関組織等の変更をしました。

▲可茂衛生施設利用組合の規約
ささゆりクリーンパークの稼働により、組合の執行機関組織等の変更をしました。

▲可茂衛生施設利用組合の規約
ささゆりクリーンパークの稼働により、組合の執行機関組織等の変更をしました。

▲可茂衛生施設利用組合の規約
ささゆりクリーンパークの稼働により、組合の執行機関組織等の変更をしました。

◎繰入金の変更

▲平成10年度下水道事業特別会計の繰入金を減額
建設事業費の減額

▲平成10年度農業集落排水事業特別会計の繰入金を減額
建設事業費の減額。

◎補正予算

▲一般会計補正予算(第8号)
5382万7000円を減額し、総額を38億5749万円としました。
主な内容は、
歳入では、法人町民税、自動車取得税交付金の決算見込みを推計し減額。
歳出では、下水道整備費で水道本管工事が延長されたことによる下水道会計への出資金の増額。
土木費の道路新設改良費で用地買収が遅れたため財産購入費、工事請負費を減額。

▲一般会計補正予算(第8号)
5382万7000円を減額し、総額を38億5749万円としました。
主な内容は、
歳入では、法人町民税、自動車取得税交付金の決算見込みを推計し減額。
歳出では、下水道整備費で水道本管工事が延長されたことによる下水道会計への出資金の増額。
土木費の道路新設改良費で用地買収が遅れたため財産購入費、工事請負費を減額。

▲一般会計補正予算(第8号)
5382万7000円を減額し、総額を38億5749万円としました。
主な内容は、
歳入では、法人町民税、自動車取得税交付金の決算見込みを推計し減額。
歳出では、下水道整備費で水道本管工事が延長されたことによる下水道会計への出資金の増額。
土木費の道路新設改良費で用地買収が遅れたため財産購入費、工事請負費を減額。

▲一般会計補正予算(第8号)
5382万7000円を減額し、総額を38億5749万円としました。
主な内容は、
歳入では、法人町民税、自動車取得税交付金の決算見込みを推計し減額。
歳出では、下水道整備費で水道本管工事が延長されたことによる下水道会計への出資金の増額。
土木費の道路新設改良費で用地買収が遅れたため財産購入費、工事請負費を減額。

▲一般会計補正予算(第8号)
5382万7000円を減額し、総額を38億5749万円としました。
主な内容は、
歳入では、法人町民税、自動車取得税交付金の決算見込みを推計し減額。
歳出では、下水道整備費で水道本管工事が延長されたことによる下水道会計への出資金の増額。
土木費の道路新設改良費で用地買収が遅れたため財産購入費、工事請負費を減額。

▲一般会計補正予算(第8号)
5382万7000円を減額し、総額を38億5749万円としました。
主な内容は、
歳入では、法人町民税、自動車取得税交付金の決算見込みを推計し減額。
歳出では、下水道整備費で水道本管工事が延長されたことによる下水道会計への出資金の増額。
土木費の道路新設改良費で用地買収が遅れたため財産購入費、工事請負費を減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

▲老人保健特別会計補正予算(第2号)
8437万8000円を減額し、総額を8億8492万9000円としました。
主な内容は、
歳出では、医療給付費で不用額が見込まれるため減額。

◎繰入金

▲下水道事業特別会計への繰入金
管理運営財源、建設財源等に不足が生じるため、不足財源1億8055万2000円の繰入れ。

▲下水道事業特別会計への繰入金
管理運営財源、建設財源等に不足が生じるため、不足財源1億8055万2000円の繰入れ。

▲農業集落排水事業特別会計への繰入金
管理運営財源に不足が生じるため、不足財源2298万7000円の繰入れ。

▲農業集落排水事業特別会計への繰入金
管理運営財源に不足が生じるため、不足財源2298万7000円の繰入れ。

▲一般会計補正予算(第9号)
2719万2000円を追加し、総額を38億8468万2000円としました。
主な内容は、
歳出では、やすらぎの家にエレベーターを設置するため、工事費を増額。

▲一般会計補正予算(第9号)
2719万2000円を追加し、総額を38億8468万2000円としました。
主な内容は、
歳出では、やすらぎの家にエレベーターを設置するため、工事費を増額。

▲一般会計補正予算(第9号)
2719万2000円を追加し、総額を38億8468万2000円としました。
主な内容は、
歳出では、やすらぎの家にエレベーターを設置するため、工事費を増額。

▲一般会計補正予算(第9号)
2719万2000円を追加し、総額を38億8468万2000円としました。
主な内容は、
歳出では、やすらぎの家にエレベーターを設置するため、工事費を増額。

▲一般会計補正予算(第9号)
2719万2000円を追加し、総額を38億8468万2000円としました。
主な内容は、
歳出では、やすらぎの家にエレベーターを設置するため、工事費を増額。

◎請負契約の変更

▲公共下水道事業の工事請負変更契約の締結
主な理由
管きょ布設路線の延長増

▲公共下水道事業の工事請負変更契約の締結
主な理由
管きょ布設路線の延長増

▲公共下水道事業の工事請負変更契約の締結
主な理由
管きょ布設路線の延長増

▲公共下水道事業の工事請負変更契約の締結
主な理由
管きょ布設路線の延長増

町長所信表明



町長が新年度予算を提案説明

【町長の所信表明の一端から 新年度予算提案説明の抜粋】

21世紀を間近に控えた重要な時期、混沌とする経済、国際化、情報化、高齢化、少子化などの言葉で表されるように著しく変化する社会情勢に柔軟に対処し、すべての町民が安らかな暮らしを享受するため、第3次総合計画の基本構想に掲げられた6つの柱を共通の目標とし、特に新年度につきましては共通する福祉、教育の両側面の充実を最優先に取り組み「本当に住みよいまち、住んで良かったまち」をスローガンに、「住民の立場に立った町政」に積極的に取り組んでいきたいと考えて

います。

国、県においてはバブル経済崩壊以降、大変厳しい財政状況が続いています。

現在、本町ではおおむね健全財政を維持していますが、国・県の経済対策に呼応した諸事業の実施、公営住宅立替え事業、保育所建設事業、下水道事業等第3次総合計画に位置づけられた事業が山積しており、将来にわたる経常経費の増大が懸念されます。このような厳しい状況下のなか行政改革の断行と、財政の健全性を確保するための徹底した経費削減に努め、平成11年度の予算を編成しました。

歳入についての概要を説明します。

町民税はいまだ減収の動向は伺えず、前年当初予算比で9.3%の伸びがあり、地方交付税につきましても前年当初予算比で4.6%の伸びを見込んでいます。しかしながら、地方消費税及び自動車取得税の交付金は減収の見込みであり、このため常に危機感を持ち、

町債を抑制し、適切な基金からの繰り入れを図りながら財源措置のある有利なものを活用することを前提に財源の確保を行っています。

歳出につきましては、予算要求の段階で行財政改革の意識を持たせ、従来にとらわれることなく効果の薄い事業の見直しや事務的経費の削減に努め、建設コストの縮減を意識し、最小の経費で最大の効果が図られるような総合的な事業調整を行って予算編成をしました。

平成11年度の予算規模は、
一般会計

39億9000万円

特別会計

32億4743万円

合計

72億3743万円

となり、一般会計の予算規模は前年当初に比べ、1億8800万円の増額で4.9%の伸び、特別会計では2842万3000円の増額で1%の伸びとなりました。全体では3.1%の伸びとなり、2億1642万3000円の増額となっています。

それでは、基本構想に掲げられた6つの柱により、順次

説明します。

ダム湖に映る 美しいまちづくり

第1に「ダム湖に映る美しいまちづくり」であります。川辺ダム湖はわが町が誇る豊かな資源であります。ダム湖周辺整備事業も右岸地区はすでに完成し、それぞれの施設で町民の方々に潤いと安らぎを感じていただいている所であり、今後も施設の有効活用としてスポーツを通した「ふれあい・交流」事業の開催を計画していきます。

平成12年開催予定の全国高等学校総合体育大会ボート競技は、川辺町を全国に発信する絶好の機会であり、11年度から本格的に大会準備にとりかかります。

安心して暮らせる まちづくり

第2に「安心して暮らせるまちづくり」であります。

介護保険制度の導入が2000年4月からの開始にあわせて、その事務体制づくりを広域で取り組むこととしております。次に、安心して子育てしやすい環境づくりに向けて、(仮称)第三保育所の建設に向けて測量調査をします。福祉の充実を図るため、乳幼児医療費の年齢を3歳未満児から4歳未満児に引き上げを行います。また、町民の生涯を通した学習活動のため、本町の北部地域を候補地として教育・福祉を総合した、町民のふれあいを支援する施設整備についての構想の策定を行います。

便利に活動できる まちづくり

第3に「便利に活動できるまちづくり」であります。

道路網の整備は、交通の利便性の向上のみならず、人の交流、文化の交流、情報の交流等その使命は無限であります。現在工事が進められている東海環状自動車道、41号バイパス、国道418号線、

主要地方道可児金山線、美濃川辺線の早期完成に向けて整備促進に努めていきます。また、生活道路である町道は土地利用の動向を注視しつつ安全・安心でできる整備に努め、快適なまちづくりを目指していきます。

活力ある まちづくり

第4に「活力あるまちづくり」であります。

自然景観に恵まれた川辺町の特性を生かし、全町的に水と緑あふれるまちづくりを推進します。

農業振興については、農業の生産性の向上と環境の整備を図るよう、排水事業、農道舗装事業を推進すると共に、米の生産調整にかかる農家負担の軽減と、営農意欲の向上を図るため高齢者、婦女子の生きがい農業の推進を図っていきます。

商工業については、中小企業の不安定な経営を救済するため、小口融資制度の額の拡充をします。

教育関係については、中学校のプールの改修等教育施設の整備を進めてまいります。また、環境ホルモンの溶出が懸念された学校給食用食器については、陶磁器製の食器に買い替えをしていきます。

快適な生活を 楽しめるまちづくり

第5に「快適な生活を楽しめるまちづくり」であります。

公共下水道事業については、事業認可区域の拡大を行い355ヵ所としております。本年度には中川辺大北地区と福島地区の事業に着手します。鹿塩地区農業集落排水事業については4月から供用を開始します。

増えつつあるゴミ対策に対応するため、ゴミ減量対策及び分別収集等の事業の充実を図ります。また、災害に強いまちづくりをめざし、急傾斜地崩壊対策事業工事を推進します。都市下水路の修繕、かんがい排水路工事についても継続的に実施します。

また、住宅に困窮する方々

に文化的な生活ができるよう配慮し、生活の安定と社会福祉の増進を目的として（仮称）川辺西団地建設に向けて、用地費の計上をしております。スポーツ振興については、高校総体へ向けての体制づくり及び施設整備を行います。また、海洋センターの施設の充実を図ります。

開かれた町政の 推進

第6の「開かれた町政の推進」であります。

行政に求められるサービス、情報も多くなることが予想されることから、住民の皆さんに的確な情報を分かりやすく案内する便利帳の作成をします。また、職員相互の研修や専門研修を計画し、行政改革と平行した組織体制の見直しを図っていきます。

（新年度予算の詳細につきましては、「広報かわべ4月号」をご覧ください）



（仮称）川辺西団地 完成予想図

一般質問

そこが聞きたい 知りたい

定例会最終日の3月19日、7名の議員が質問に立ち、放課後保育の検討を、農業政策の推進は、介護保険制度の対策はなど26項目にわたり町政をただしました。

質問の要旨と答弁の概要は、次のとおり。



田原芳郎議員

保健活動の効率的な配慮を

【田原議員】現在保健センターでは4名の保健婦により健康相談、保健予防、機能訓練、訪問指導等の活動を行っており、11年度からは1名増員し、5名により事業を進めていくことになっている。しかし、住民課所管の国保事業、福祉事業とも関連があり、これらの事業は保健婦が深い関わりをもっている。特に訪問指導の実施は病気の早期発見、早期治療につながり医療費の抑

制に重要な要素となるものである。相互の連絡を密にするとともに効率的な保健婦の配置をすべきと考えるが、対応について伺いたい。

連絡を密にして事業を推進する

【井戸住民課長】現在、保健婦は「健康で生き生きと暮らせる健康長寿社会」実現に向けて、乳幼児保健、予防接種、各種健康相談・検診、機能訓練、訪問指導等実施している。しかし、機能訓練、訪問指導の実施状況は低い状況であり、その対策として保健婦が中心となり関係各機関と共同で

いきたい。

子供議会開催の検討を

【田原議員】最近全国各地で児童、生徒を対象にした子供議会が開催され、町の現状や議会の仕組みについて勉強し、成果を上げているとの報道があった。町民の議会に対する意識の向上にもつながると思うが、本町でも子供議会の実施に向けて検討されたい。

前向きに検討したい

【佐伯教育課長】現在、学習の場において小学校では社会科学習で政治の働きを、中学校では社会科学の公民的分野において政治の学習を行っている。子供議会は体験的学習の場にもなり、町の現況や議会の仕組みについて関心と理解を深める機会であることから、学校、関係課とも協議し前向きに検討していきたい。



毎月行われる機能回復訓練

「介護保険対象者にならない・ならせない」をスローガンにB型機能訓練と訪問指導型事業として実施するよう計画している。住民の健康と福祉の増進を図るため、関係機関との連携を密にし、体制強化に努めて

ふれあい支援センター (仮称)の内容は

【田原議員】11年度予算に、ふれあい支援センター(仮称)の基本構想委託料が計上されている。この構想は、学習の場の拠点となる施設整備との説明を受けているが、事業推進の方向性と考え方について伺いたい。

地元の意見を参考に構 想をまとめたい

【古川企画課長】第3次総合計画の中で、生涯学習の充実という視点から21世紀に向けての最重要課題である教育、福祉を核とした総合施設として、ふれあい支援センター(仮称)の基本構想策定費用の計上をしている。この構想の策定にあたっては生涯学習の充実、障害者に配慮した施設整備、人々が憩いふれあえる場づくり、歴史的文化遺産の保存管理等を視野に入れながら、地元の皆さんや各層の幅広い意見を取り入れ、内容の検討、設定等より良い構想づくりをしていきたい。



渡辺芳孝議員

西小校下に放課後保育 の設置を

【渡辺議員】子育てと仕事の両立に悩む家庭のために学童保育が設立されており、大変喜ばれている。

長期休暇児童クラブには60名、放課後児童クラブには15名の参加者があり、年々増加する傾向にある。特に放課後児童クラブでは本年20名の参加が見込まれているが、指導者の配慮により対応はできるが、12年以降は人数的に対応が不可能になる事態が懸念されている。学校の児童数、地理的な関係から西小校下に放課後保育の設置が必要と思うが、今後の対応について伺いたい。

12年を目処に検討したい

【辻町長】本町の放課後児童クラブは、平成9年から常設クラブと、学校が春休み、夏休みとなる期間の季節児童クラブの2つの形で小学1年から3年生の留守家庭児童を対象に実施している。事業は「児童クラブを進める会」に委託しており指導者、進める会の皆様の協力により運営されている。本町では、「安心して暮らせる町づくり」を重要な施策として、保育園での延長保育、特別保育、コミュニティママ子育てサポート事業



参加者が増加している放課後児童クラブ

の推進など、子供と子育て家庭に対する支援に努めている。こうした中で、放課後児童クラブへの申し込みは現時点で18名であり、そのうち、西小校下の児童数は10人となっている。定員は20人であり問題はないが、申し込み者が増加傾向にあり、地理的な関係を含め事業実施には大きな課題となっている。

この事業は各校下で実施することが児童の移動や学校行事等の関係から理想と考えられるが、いくつかの理由からそれには至っていない。

町としては進める会、議会の皆様のご理解を得ながら、需要の動向を考慮し、人数の多い西小校下で分離を前提とした考え方を、12年を目処として検討していきたいと考えている。

土地売買代金疑惑の事 実関係は

【渡辺議員】下川辺区に無償譲渡された土地に関わる疑惑が、地方紙により報道された。報道によると土地の売却代金の一部が下川辺区役員と行政

関係者との旅行費用に当てられたことになっているが、真相を伺いたい。また、町から無償譲渡される際に下川辺区から提出された確認書が区長、区長代理以外の組長5名は署名、捺印をしていないといわれているが、このことは確認書の偽造になると思うが、その内容と今後の対応を伺いたい。

掲載記事の内容は遺憾

【辻町長】不信任感を抱かせるような記事が関係者すべてから取材をしないで地方紙に掲載されたことは、遺憾な事と思っている。事実経過については、東海環状自動車道の建設に向けての積極的な事業説明会、用地交渉等を行い事業の見通しがついたこと、また、川端土地改良事業も一つの節目を迎えたことから、事業を担当していた職員が退職することになり、その慰労を兼ねて送別会の申し入れが地元対策委員からあり、仕事の延長として参加している。従って、参加した職員は招待ではなく、

費用は個人負担で支払いをしている。

確認書の扱いについては、町から譲渡した土地は下川辺区のものという地元の皆さんの考え方が妥当であると、議会に対して説明する参考的な資料であり、提出された書類には署名捺印があるということとは、本人又は代理人の意志によりなされていると考え、確認し処理している。当時は地区からの反証もなく土地の譲渡も支障なく済んでおり、手続きに誤りがあったとは思ってはいない。その後協議会からの指摘により事実関係を確認したところ、組長さんの自筆ではないことが判明したが、このことが町にとって不利益もなく、また、地元土地が譲渡されたことに支障も生じていない。このことから現時点でのいかなる対処も考えてはいない。

日々雇用の年齢制限は疑問

【渡辺議員】高齢化社会が進行するなか、定年を60歳から65歳まで延長する動きが多く

なっている現在、町で日々雇用職員登録募集が行われたが、「50歳未満の方に限ります」との応募資格が限定されている。50歳以上の方でも健康で意欲のある人材であるならば積極的に登用すべきであると考えるが、50歳未満と限定された理由を伺いたい。

働きやすい年齢を考慮している

【岩田総務課長】一時的に増大する行政業務に的確に対応するため、日々雇用職員の募集を行っている。

募集要項の年齢を50歳未満としたのは、厳しい経済情勢の中で、一般的家庭における子育て等の経済的負担が最も必要で、かつ比較的高齢者の介護の必要性も少なくパート等に出ることのできる年代、つまり働きにしやすい、出なければならぬ家庭環境にある方を優先するため、年齢制限をした。



平岩 求議員

21世紀に向けた農業政策は

【平岩議員】食料・農業・農村基本問題調査会の答申によると21世紀に向けて、食料の安定供給の確保と、多目的機能の発揮、農業の持続的な発展が必要であるとしている。本町においても色んな農業施策が計画されているが、農業者に対して今後どのように指導していくのか、21世紀に向けた川辺町の農業政策のなかでの事業推進計画について伺いたい。

都市との交流事業を進めたい

【辻町長】本町の農業形態は飯米農家、兼業農家が多いのが特徴である。農業が儲からないからといって見捨てるの

ではなく、農業のもつ役割を認識しなければならない。田や畑は水源涵養など多面的な機能を有しており、これらの資源を最大限に活用し若者の定住、農業後継者の確保、都市との交流を図る、体験農園事業などができるような、豊かな農業地域づくりを進めていきたいと考えている。

魅力ある農業に取り組む

【高井農林課長】農業を取り巻く環境は、過去に経験したことのないような時代を迎えている。食料は生活に欠くことのできないものである。農業での収益は他の産業に比べ労力の割りには低いことから農業離れ、高齢化と後継者不足に悩まされている。このような状況のなか、本町の農業への取り組みは各種の補助事業の採択を取り入れ、地域にあった魅力のある農業政策を実施していく。

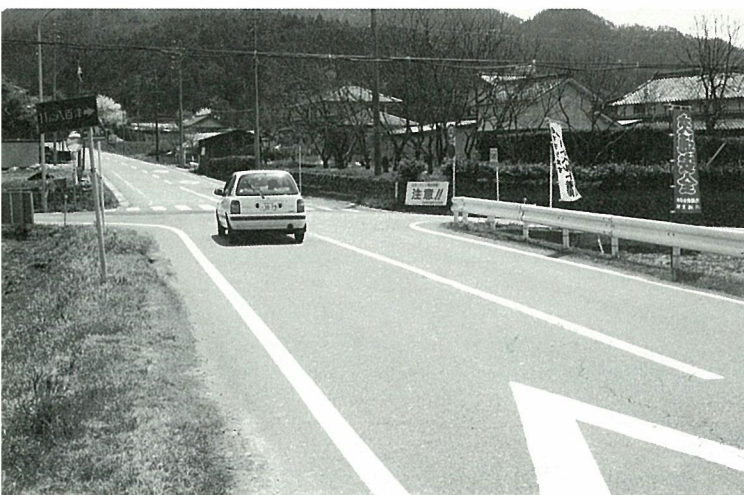
県道交差点に信号機の設置を



大脇久男議員

【大脇議員】現在下吉田地区の父兄の方々が小中学生の登下校に、事故の危険性のある県道交差点で交通整理にあたっておられる。県道可児金山線

交通信号機の要望がある県道交差点



河川敷きに放置されたゴミ



【山田建設課長】県道可児金山線は7年度から事業化され現在下吉田、比久見地区の一

信号機の設置を要望する

は近々に改良に向けて着工の予定と聞いているが、川辺大橋左岸の交差点は交通量が年々増加し危険であるので、交通信号機あるいは、地下道の建設に取り組んでいただきたい。

飛騨川兩岸の清掃を

部で用地買収交渉に入っている。道路の完成にはまだ数年を要するが、下吉田地内の交差点は交通量の増加が予想されており、また、通学路でもあるので、交通安全上信号機の設置が必要と考えており、事業主体である県に対し実現できるように強く要望していく。

【大脇議員】川辺漕艇場は、12年の全国高等学校総合体育大会ボート競技や11年のリハーサル大会、町民レガッタ等各種の大会が予定されている。高校総体は全国各地から多くの選手、役員が来町されます。「ボート王国かわべ」として胸をはって迎えたい。かわべダム湖の両岸を中部電力とも協力し、大規模な清掃活動を実施していただきたいが、お考えを伺いたい。

大会に向けて清掃作業を実施する

【佐伯教育課長】川辺ダム湖は本町の代表的な景観で、自然に恵まれた環境は水面スポーツの場として、また、交流、憩いの場として多くの人達に利用されている。昭和63年に開催された東アジア漕艇国際大会以後、飛騨川を汚さないようにと、町民の皆さんや各種団体の皆さんにより美化運動にご協力をいただいている。また、12年の全国高校総合体育大会ボート競技開催に向けて、川辺町民の心意気を全国に示すよい機会であり、川辺町に於てよかったと言われるよう清掃活動、環境整備に町民の皆さんのご協力を得て清掃作業を実施していきたい。

職員の配置は適切か

【大脇議員】地方分権によって、地方事務の複雑、多様化が進み事務処理量が多くなり、職員のなかには残業、休日出勤によって事務を処理している。残業手当は支払われているが、予算以上のものはボランティア的精神で勤務しているのではない。また、代休制度により休日を取ることはできるが、現状では取っている職員は多くないと聞いている。このような現状をふまえて事務量の多い課には人員を増やし、適切な人員配置ができるよう図っていただきたいが、お考えを伺いたい。

将来を見据えた職員配置を行っている

【辻町長】行政に対する住民ニーズが多様化し、このため行政に求められるサービス情報も多種多様なものとなることとが予想され、的確に対処するため絶えず事務量の見直しを行い、効率的な事業実施を図っていかねばならない。こうしたことから、行政改革と平行して組織体制を見直し事務の合理化、効率化を図るとともに、スクラップアンドビルドの精神により将来を見据えた職員配置を行っている。

郵便局との業務提携の内容は



平岡久茂議員

【平岡議員】昨年11月に川辺町と川辺郵便局との間で道路情報に関する覚書が締結されている。走るモニターとして、情報の収集をすることを目的としていると思うが、内容と実情を伺いたい。

道路の異常報告を受けて対応している

【山田建設課長】町と郵便局が相互に協力し町内の道路に関する異常をいち早く発見し、速やかに対応出来るよう覚書を締結している。内容は、道路の状況報告、災害報告、道路標識やガードレール、カーブミラー等の異常報告、道路改良箇所要望等を含むものである。

北小グラウンドに夜間照明を

【平岡議員】町内の各小中学校、下麻生、山楠グラウンドには夜間照明設備が完備されているが、北小中学校には照明設備がない。各種のスポーツを楽しむ利用者も増えており、地元からも夜間照明設備の要望が出ている、設置に向けて対応していただきたいが、お考えを伺いたい。

利用状況を見て検討する

【木沢教育長】夜間照明施設



夜間照明施設の要望がある北小グラウンド

はスポーツ、レクリエーション、体力作りなどに広く利用されている。本年新たに夜間照明施設が整備された山楠グラウンドを含めた町全体の夜間照明施設の今後の利用状況を見ながら、検討していきたい。

舗装工事の路肩処理の対応を

【平岡議員】町内の道路は舗装が進み生活道路として、農作業用として大変便利になっている。しかし道路の路肩の盛土部分にはほとんどが砂質系のものが使用されており、この土砂は降雨により流出し耕地に飛散し耕作者からの苦情がある。また、土砂の流失によって舗装面に段差ができ、亀裂、崩壊の原因にもなっている。土砂が流失しない材料で施工できないのか伺いたい。

材料を検討する

【山田建設課長】道路の路肩



路肩の崩れた町道

部分には、路盤材が表面に露出しないように山土をかぶせる盛土工法で実施している。幅員の狭い道路を少しでも広く取れるように施工しているが、土が流れたり陥没等の苦情があるので、今後は工事施工時に盛土の材料も含め、対応を検討していきたい。

介護保険制度の周知徹底を

【平岡議員】介護保険制度が12年4月から施行となり、保険制度に示されたサービスを実施していかなければならない。実施に向けて準備中であると思うが、経験を持つ職員の不足、要員の確保、介護保

険施設等多くの課題があると思うが、その対応はできているのか伺いたい。また、被保険者の保険料負担は、所得に応じて徴収されると認識しているが、保険料の設定、運営のあらまし等事前にPRすべきと思うが、現在の状況を伺いたい。

広報紙等でPRする

【井戸住民課長】介護保険法の成立後全国の市町村で施行に向けた準備に入っている。可児・加茂地域でも、介護認定審査会に関する事務を共同で行うことにしている。

介護保険はまったく新しい制度であり、訪問調査・ケアプラン作成といった専門知識を必要とする事務があり、その中で介護支援専門員の確保が急務となっている。担当課職員だけでは対応ができないため町保健婦、社会福祉協議会職員及び在宅看護支援センター職員の協力を得て実施していく。

介護保険料は、65歳以上の第1号保険者と、40歳から64

歳までの第2号保険者とは、保険料の算定方式が異なり、また、第2号保険者の保険料は医療保険の保険料として一括徴収される。12年3月には本町の第1号被保険者の保険料を決定することになるが、介護保険全般の周知を図るためチラシの配布、広報紙等による制度内容の説明及び地区懇談会の開催により、周知徹底を図っていきたいと考えている。

痴ほう性老人の対応は

【平岡議員】高齢化社会の到来により、人口の老人が占める割合は著しく高くなっている。

身体障害については医療措置が可能であり、施設も整備されているが、痴ほう性老人対策については遅れている。痴ほう性老人を抱えている家庭の悩みは深刻であり大きな犠牲を強いられている。

現在本町にはどの程度の痴ほう性老人がおられるのか。その対策として相談窓口の設置、家庭での看護方法の啓発、

保険制度の充実、ホームヘルパーの家庭訪問・指導・助言等の実施が考えられるが対応について伺いたい。

地域と行政が一体となる体制づくりを推進する

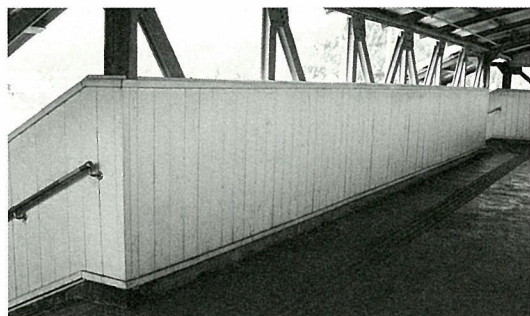
【井戸住民課長】痴ほう性老人は本年実施した実態調査により在宅者が44名、施設入所者で19名と推定している。痴ほう性老人の相談窓口は、住民課、保健センター、在宅介護支援センター、やすらぎの家社会福祉協議会で相談を受けている。現在、社会福祉協議会と行政が協力し、出前介護教室の開催などを各地域、各種団体に対し啓発活動を実施しているが、在宅介護支援センターを知らない方もあり、今後もPRに努めていく。また、11年度には、高齢者健康教室を保健婦が中心になり、関係各機関と一体となって予防啓発に取り組むとともに、痴ほう性老人の徘徊防止等、地域と行政が一体となって見守る体制づくりの推進を図っていききたい。



船戸 進 議員

中川辺駅構内の陸橋に手摺りの設置を

【船戸議員】中川辺駅構内の陸橋は、階段には手摺りが設置してあるが通路部分には手摺りがない。高齢者の方や、身体の不自由な方が乗り降りの際に支障があり不便を感じている。安全な通行の確保のためにも、ぜひJRと協議し、



手摺のない陸橋通路

設置できるよう配慮していただきたい。

要望書を提出している

【岩田総務課長】中川辺駅は通勤、通学、通院等必要不可欠な施設である。構内の軌道陸橋の階段には手摺りが設置されているが、通路部分には設置されていないため高齢者、補助を必要とされる方には不便を感じられている。このため手摺りの設置と合わせて、輸送サービスの改善と列車の増発、運行時刻の延長等JRに対し、改善要望書を提出している。

工事標識の適切な表示を

【船戸議員】町内各地で道路、下水道、上水道、舗装工事等が実施されているが、各種の規制標識や案内標識等で表示はされてはいるが、一部の工事箇所では通行可能な道路でも通行止め標識がでていたり、その逆の場合もある。通

通行規制された道路



行者の立場にたった親切な案内をするよう指導していただきたい。

適切な設置を指導する

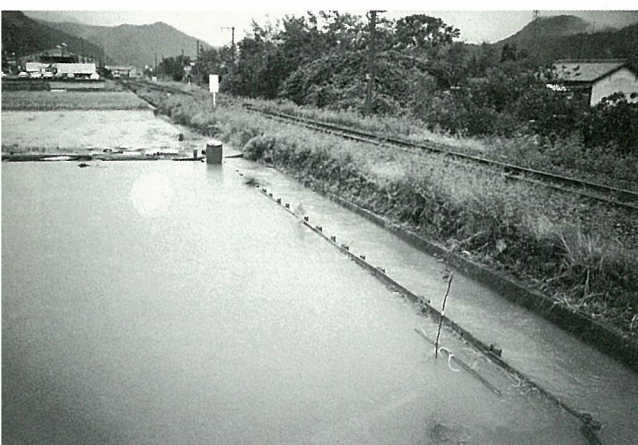
【山田建設課長】道路改良事業、下水道事業、農業用水事業等町内各地で道路の通行規制を行っており、迷惑をかけている。交通規制看板、案内看板の設置には、事業者に適切な設置を指導しているが、今後も通行者の立場にたった、適正な看板の表示をするよう

指導していききたい。

排水不良箇所の早期解消を

【船戸議員】下石神地内の一部には、排水の不良箇所がある。近年特に農地が宅地に転用されたことにより雨水が一度に流出し、浸水するところもある。早期に改善の必要があると思うが、計画はあるのか伺いたい。

道路改良と併せて側溝を整備する



排水不良で冠水した農地

【山田建設課長】土地利用の変容、市街地化の進展等に伴い人家の密集化や農用地の宅地化が進み、そのため、雨水の増大や排水路の断面不足等により浸水被害が出ている地区がある。ご指摘の箇所は、7年・8年に現況調査を実施し雨水排水基本計画を策定しており、順次整備をする計画を立てている。整備手法は、道路改良事業に併せて拡幅改良し、両側に側溝を設置することとしているので、地権者の方の協力をお願いしたい。

ゴミ収集手数料を細分化しては

【船戸議員】ゴミの収集手数料は、1袋50円に決められたが、市町村によってばらつきがありアンバランスである。不燃ゴミと粗大ゴミの収集手数料を細分することはできないのか。住民の不公平感を無くするため、実態にあった見直しをされたい。また、業者による粗大ゴミの収集手数料の基準と、住民への周知方法について伺いたい。



毎回多く出される不燃粗大ゴミ

細分化は混乱を招く恐れがある

【村山保健環境課長】ささゆりクリーンパークの供用開始に伴いゴミの収集方法が変更になり、ゴミ袋は可燃袋、資源袋、不燃袋の3種類、袋に入らない可燃粗大ゴミ、不燃粗大ゴミはシールを貼っての提出となった。

手数料は、ゴミ袋については1袋50円としている。これは、可燃ゴミの処理費用が10円、不燃粗大ゴミの処理費用が511円、資源袋を試算した場合673円、

不燃袋の場合672円となるが、財政面等を検討し50円としている。また、袋に入らない可燃粗大ゴミ、不燃粗大ゴミをこれ以上細分化すれば住民の混乱を招く恐れがあり、関係市町村の協議の中で各市町村統一料金500円としている。業者が直接回収する粗大ゴミの手料は、運搬、輸送処理経費等を基準として算定される。また、ゴミ収集について混乱を来さないためにも、ゴミ講座、ゴミの分別収集等の説明会を開催し、町民の皆さんに周知徹底を図っていききたい。

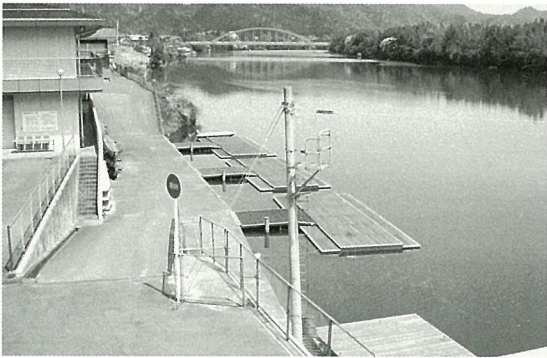
川辺漕艇場を県営化にできないか

【船戸議員】川辺漕艇場は、施設については県の所有であり、管理は町が行っている。一般的には県営川辺漕艇場と

言われているが、実際は準県営漕艇場である。高校総体を控えた現在、名実ともに県による管理・運営を一体的に行う県営漕艇場となるよう働きかけていただきたいが、お考えを伺いたい。

県営漕艇場として要望する

【辻町長】現在の川辺漕艇場は準県営施設であると認識している。漕艇場の施設整備の充実については県が行い、運営管理は川辺町が行う取り組みができています。県では12年



高校総体に向けて整備する発艇場

介護保険の問題点と対策は

【船戸議員】12年の実施に向けて介護保険制度が計画されているが、現在までのような準備がなされているのか。この介護保険制度では、施設整備の遅れ、介護者を認定する一時判定基準が実態に合わないなどの指摘もあり問題点も多いと聞いている。現段階で判明している問題点と今後の対策についてお聞きしたい。

老人保険福祉計画を見直し検討する

【井戸住民課長】本町においては、介護保険事業計画・老人保険福祉計画の作成にあた

り高齢者等の生活実態・保健福祉サービスなどのニーズ、意見等を把握するため実態調査を実施した。昨年11月には要介護認定に関する試行的事業として、12名の方を選定し調査から認定までを実施し、その結果を受けて判定基準などの見直しを行っている。本年は介護サービスの種類ごとの供給量を把握し、適切な介護保険事業計画を作成するための介護サービス供給見込み調査を実施している。また、介護保険の認定事務については、11年4月から介護認定審査会に関する事務を可児・加茂広域事務組合で実施することになっている。

今後予想される問題は、通所サービスの利用希望率が高くなり、現在のデイサービスセンターや老健施設での供給量の不足が見込まれることから、施設の確保が必要と考えている。また、ホームヘルプサービスを受けている人のうち、介護保険では対象とならないケースも予想される。これらについては老人保険福祉計画の中で見直しの検討をしていきたい。

本年10月から、要介護認定

申請の受付が開始されるが、介護保険制度を理解していたため、説明会の開催、パンフレットの配布等PRに努めていきたい。

乳幼児医療費助成を就学前児童まで対象に

【船戸議員】平成11年度から乳幼児の医療費助成の対象年齢が3歳未満児から4歳未満児まで引き上げられることになったが、今後は、就学前児童までを対象として引き上

財政状況を考慮し検討する

【辻町長】本町では、「安心して子育てしやすい環境づくり」を目標に、町単独事業の医療費助成、保育料を国の徴収基準より低く押さえる経済的支援を図るとともに、延長保育等実施している。

今後、子供と子育て家庭に対する支援を推進するため、

就学前までの医療費助成対象者拡大も含め、財政状況を考慮し、検討していきたい。

鹿塩工業団地の基本構想の見直しを

【船戸議員】鹿塩工業団地造成事業は、現在の社会情勢の下では実施することは適当な時期ではない。景気の低迷が続く経済情勢下では優良な企業の誘致ができるかが不透明であり、計画の凍結、あるいは基本構想を根本から見直す必要もあると思うが、お考えを伺いたい。

慎重に事業推進を心がける

【辻町長】現在の厳しい経済情勢が一刻も早く回復し、企業誘致立地環境が好転することを願っている。

本事業は中濃拠点都市地域基本計画を始め、各種計画に関連し上位に位置づけられたもので、第3次総合計画で川辺町の基礎基盤を構築するという大きな目標で掲げたものである。この事業は、6年から県営事業として進められており、厳しい経済情勢下ではあるが、県との関係を一層強

固にし、慎重に事業推進を図っていきたく考えている。

周辺事態措置三法の所見を伺う

【船戸議員】国において議論されている周辺事態措置三法（ガイドライン法）は、地方自治体や民間までが米軍が行う有行動の際に協力義務を課す法案とされているが、非核平和都市宣言の町として、反対の意志表示をすることは重要と考えるが、所見を伺いたい。

外交努力に期待する

【辻町長】日本の平和と安全を守るためガイドライン法案が国会の場で論議がされている。この法案が絶対的に必要なのか疑問はあるが、日本の中立外交の姿勢が大切であり、現在の法律の下で外交努力ができないかと考えている。



乳幼児健康診査の状況



消防出初式で掲げられた日の丸

国歌、国旗の法制化はやめるべきでは

【船戸議員】「君が代」を国歌、「日の丸」を国旗として法制化する議論があるが、色々な催しの際に町民に押し付ける法制化はやめるべきと考え、所見を伺いたい。

議会の中で議論を

【辻町長】国歌、日の丸の問題については、いろいろな意見があると思う。回りの人に一人一人語りかけるなど、議論の場を押し上げてほしいと思っている。川辺町の最高意思決定の機関である議会の中で、議論が起きることを期待している。



井上幹雄議員

第三保育園計画の内容は

【井上議員】11年度予算に私立上米田保育園の町立化を前提に測量調査委託料を予算化しているが、用地の確保はできているのか、11年度中に決定できるのか、できたとすれば建設年度の目標は何年頃なのか、また、私立上米田保育園を廃止して町立の保育園にすることに對する意志に変化はないのか、伺いたい。

11年に用地の決定・確保を考えていく

【井戸住民課長】町立の二保育園については、順次整備が整っているが、私立上米田保育園も含め、町内の三保育園が連携を密にし、保育環境の充実を図っていききたいと考え



公立保育園として整備される私立上米田保育園

ている。そうした中、私立上米田保育園から運営の委譲について要望があり、公立保育園として施設整備の推進を図ることとした。10年度には、整備方法や候補地の検討などを進めてきた。11年度は、地元説明会を行い、できれば建設用地の決定・確保及び、用地測量等を進めていきたいと考えている。また、私立保育園から公立保育園への委譲は変更がないことを、理事長を通じて確認している。

第2回臨時会

平成11年第2回臨時会は2月22日に開かれ、提出された案件はすべて原案のとおり可決しました。

報告案件

(専決処分報告)

- ▲農業集落排水事業の工事請負変更契約の締結
鹿塩地内の請負変更契約の報告を受けました。

可決案件

- ▲公共下水道事業の工事請負変更契約の締結
中川辺、西栃井、下川辺地内3件の工事の請負変更契約を可決しました。
- ▲公共下水道事業の工事請負契約の締結
中川辺、西栃井地内の指名競争入札が行われました。
- ・見持汚水幹線他管渠布設工事
- ・契約金額 7350万円
- ・岐阜市宇佐南1-6-18 大日本土木株式会社

編集後記

79号は、町長の新年度予算に對する所信表明、予算審議、一般質問が中心となっています。

議会報の内容は、議会報編集委員の編集により年4回発行し、町民の皆さんに議会での決定事項をはじめ議員の一般質問を中心に、見やすく、読みやすい紙面作りに取り組んでいます。

議会報について、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

次の議会は、6月14日からの予定です。議会の傍聴はどなたでもできます。ぜひ、お気軽にお越しください。